衛星デジタル画像データ整備業務仕様書

本仕様書は、衛星デジタル画像を活用した保安林管理システムの構築に資するため、衛星デジタル画像データの仕様を示したものである。

１．衛星デジタル画像データ整備

（１）画像データの種類

別に定める「衛星デジタル画像データのオルソ化仕様（以下、オルソ化仕様、という）」に基づきオルソ化した、1.5m の解像度を有したカラーオルソ画像データ（以下「オルソ化データ」と称する。）を作成すること。

（２）画像データ等の整備範囲

オルソ画像データについては、徳島県の管轄する区域のうち、島嶼部を除いた範囲とする。

（３）画像データの撮影年

令和８年度撮影の画像データ

（４）画像データに含まれる雲量及び積雪

① 都道府県管轄区域内で、おおむね 10%以内とすること（陸域を対象とした場合。）。

② 上記割合以内の画像データがない場合、前年度までに撮影されたデータの中から雲量及び積雪が最も少ないもので補完することとするが、その際は事前に協議を行うこととする。

（５）画像データの選定

画像データについては、当該業務の趣旨に即したもの（保安林内における森林変化抽出支援ソフト（以下、「抽出ソフト」という。）で森林変化域の差分抽出ができること等）を選定することとする。

（６）画像データの色調等

４バンド（B/G/R/NIR）８ビットを有することとする。

２．成果品の提出

（１）オルソ画像データ

画像管理ファイル等とともに、ＤＶＤ及びポータブルハードディスク等のメディアにより提出する。

（２）その他資料

提出図郭を表す資料を提出する。

（３）部数

２部

（４）提出期限

令和９年２月２６日（金）

（５）納入場所

徳島県農林水産部　森林土木・保全課　森林保全担当

衛星デジタル画像データのオルソ化仕様（基準）

衛星デジタル画像データについては以下の方法により、オルソ化し、提出図郭ごとに切り出すこととする。

（１）座標系

使用する座標系は世界測地系の平面直角座標系とする。

（２）オルソ化後の位置精度

オルソ化にあたって、国土地理院発行1/25,000地形図及び数値地図10mメッシュ（標高）と同等以上の位置精度を基準とし、オルソ化する。又、1/25,000 地形図同等以上の位置精度が取得できるようにGCP補正を行うこと。

（３）オルソ化した画像の納品図郭

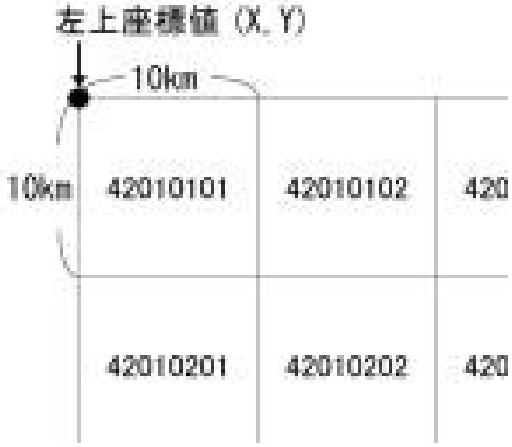
① 各座標系ごとに指定する左上座標値（X,Y）を基準として10km×10kmのメッシュを南方向及び東方向に連続して設定し、そのうち取得範囲にかかるメッシュを提出図郭とし、図郭ごとに切り出して提出すること。

② 座標値は別表「オルソ化画像（10kmメッシュ）に付する図郭の左上座標値」によること。

③ 図郭番号（10kmメッシュコード）は「都道府県ID（徳島県は36）+座標系番号+行番号+列番号」とし、下図に基づき図郭番号を割り当てること。

図郭番号（10kmメッシュコード）割当手法

４２　０１　０１　０１
↓　↓　↓　↓
都道府県ID　座標系　行　列



※成果例は資料１を参照

都道府県ＩＤ

都道府県	ＩＤ
徳島県	36

別　表　　オルソ化画像（10kmメッシュ）に付する図郭の左上座標値

座標系	都道府県	左上座標値	
		X	Y
04	徳島	10000	140000

（４）オルソ化した画像のファイル形式及びファイル名（資料１参照）

① オルソ化した画像のファイル形式はGeoTiff形式とすること。

② オルソ化した画像のファイル名は「10kmメッシュコード_00+撮影年の下二桁.tif」とし、画像データが同じ10kmメッシュ内で異なる撮影年次の場合、ファイル名に「10kmメッシュコード_それぞれの撮影年の下二桁. tif」とすること。

※例１：10kmメッシュコード43020307に当たる2004年撮影の画像を使ってオルソ化した場合、ファイル名は43020307_0004.tif、とすること。

※例２：2次メッシュコード42010202に当たる2005年及び2006年撮影の画像を使ってオルソ化した場合、ファイル名は42010202_0506.tif、とすること。

都道府県名	ファイル名	衛星名	撮影年月日	撮影角度
A県	42010202_0000	SPOT7	2016年4月1日	11.069°
B県	41020202_0016	SPOT6、SPOT7	2016年6月9日、 2016年11月23日	4.232° 、 18.343°
C県	41020203_1516	SPOT7	2015年10月1日、 2016年10月2日	12.328° 、 16.449°

（５）画像管理ファイルの作成及び接合処理（資料２参照）

① ひとつの10kmメッシュ内で、異なる撮影年次のシーンが含まれる場合は、それらを接合したものとすること。

② 撮影年次の境界を明確にするため、資料２の様式により、都道府県単位でシーンごとの境界を示すポリゴン（シェープファイル（画像管理ファイル））を作成すること。

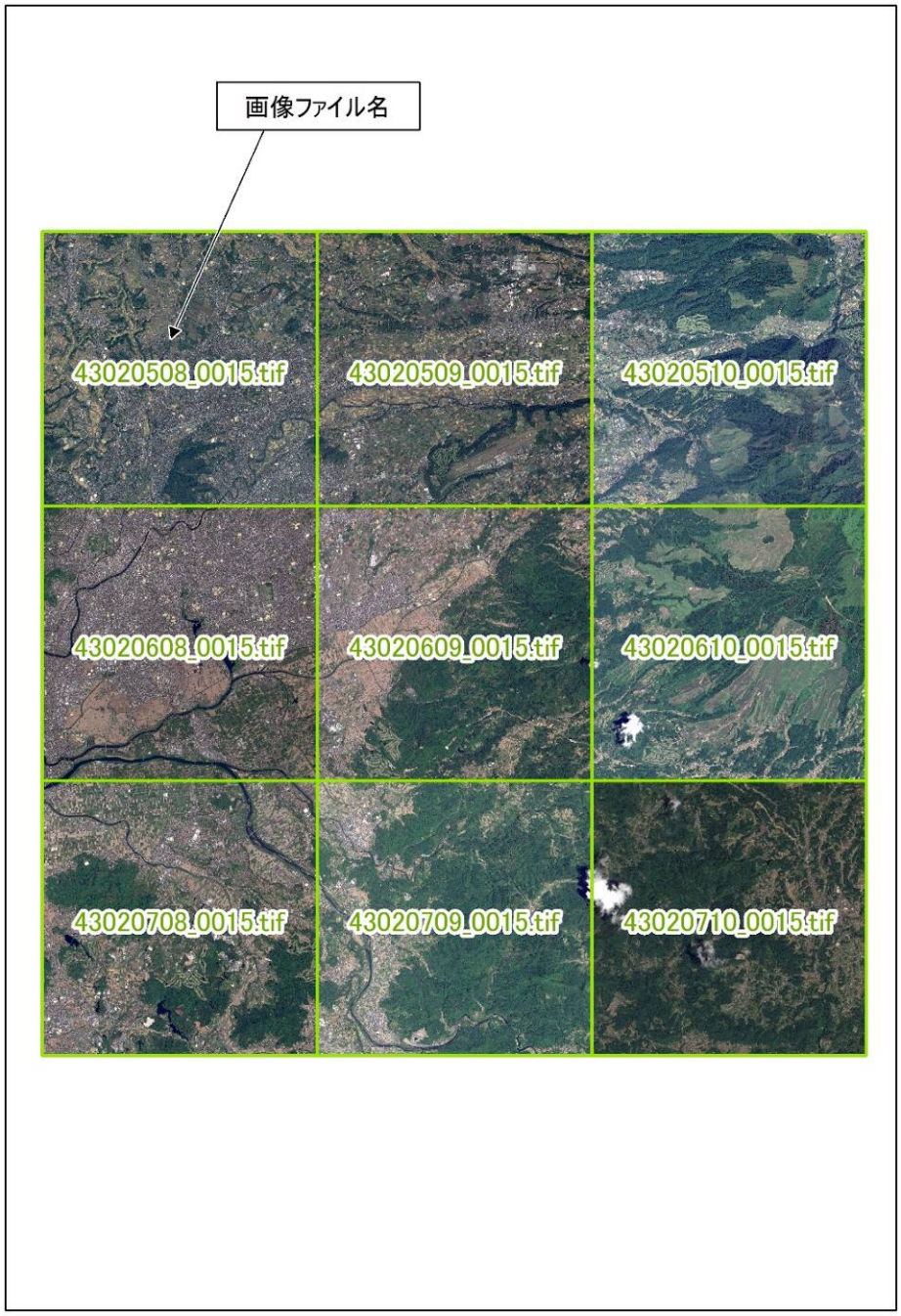
③ ファイル名は、「徳島県画像管理.shp」とすること。

④ ポリゴンの属性は、都道府県名、衛星名、撮影年月日、撮影角度、ファイル名とすること。

⑤ 座標系は画像データと同一とすること。

資料１

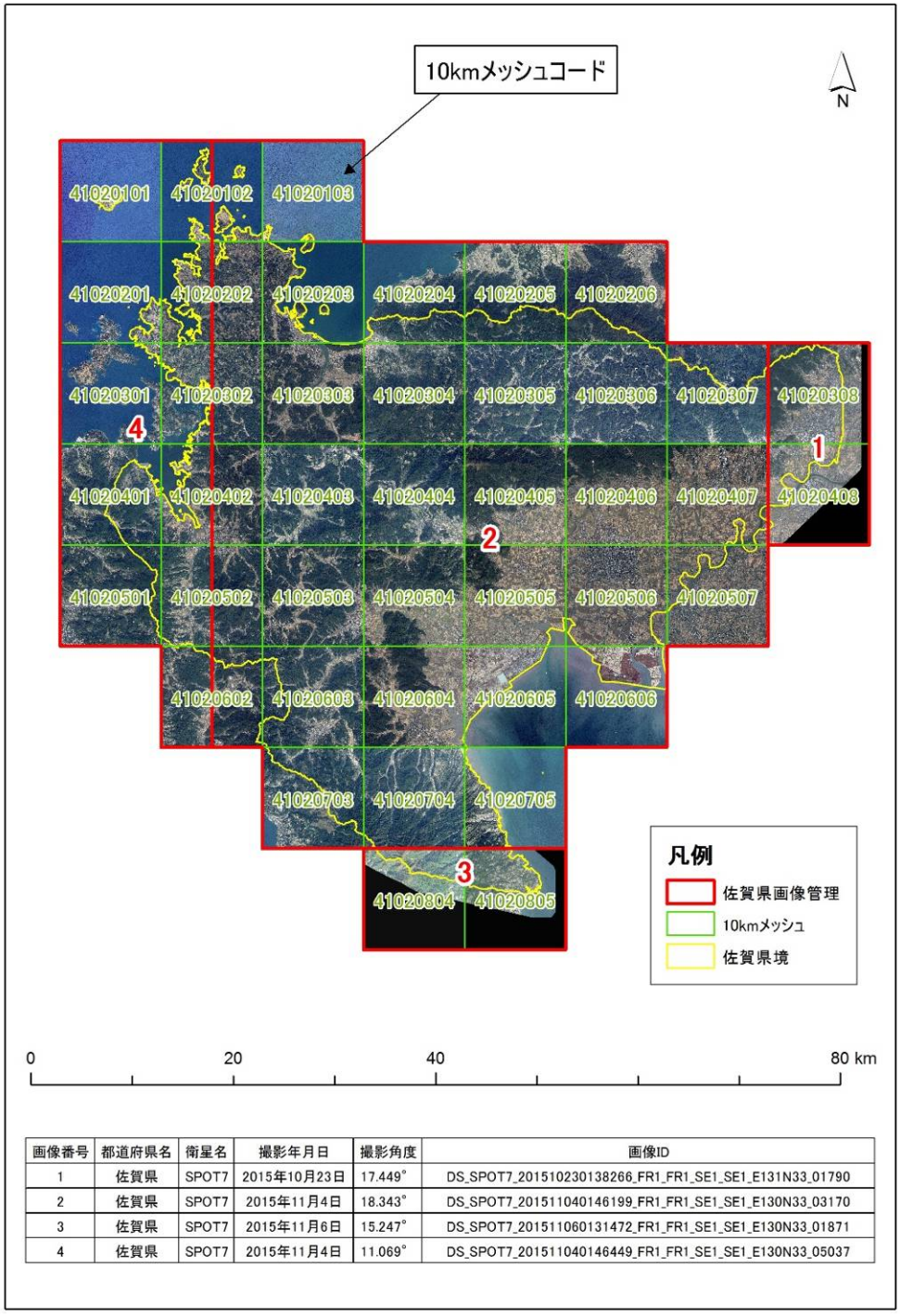
オルソ化した画像の納品図郭番号（10km メッシュコード）及びファイル名の割当例



資料２

画像管理ファイル（ポリゴン(赤線)の shp ファイル）と
オルソ画像の提出図郭（10km メッシュコード）の例

納品図郭資料(画像出力図)



画像番号	都道府県名	衛星名	撮影年月日	撮影角度	画像ID
1	佐賀県	SPOT7	2015年10月23日	17.449°	DS_SPOT7_201510230138266_FR1_FR1_SE1_SE1_E131N33_01790
2	佐賀県	SPOT7	2015年11月4日	18.343°	DS_SPOT7_201511040146199_FR1_FR1_SE1_SE1_E130N33_03170
3	佐賀県	SPOT7	2015年11月6日	15.247°	DS_SPOT7_201511060131472_FR1_FR1_SE1_SE1_E130N33_01871
4	佐賀県	SPOT7	2015年11月4日	11.069°	DS_SPOT7_201511040146449_FR1_FR1_SE1_SE1_E130N33_05037